

！農作業事故注意報！

刈払機による負傷事故 が発生しています!!



農作業中の負傷事故が発生しています。

○田の畦草刈中に、刈刃が石にあたりチップが右眼に飛んで負傷。
治療を続けていたが、後に失明。

○栗山の下草刈り作業中に足元の草を刈る際、誤って右足親指の
付け根を切傷。

○栗園の下草刈り作業中に、木の枝に刈刃があたり、右足首に飛んで
負傷。

ほ場や樹園地の草刈り作業で刈払機を使用する際は、**足元と周辺環境の確認、防護服の着用徹底、機械の取扱いに十分注意**し、事故の防止につとめましょう。

刈払機事故の4つの特徴

- 1 斜面・法面での不安定な姿勢による事故(29.5%)
 - 傾斜地・法面は滑りやすい
 - ⇒小段の設置、スパイク靴の着用
- 2 回転刃による事故(接触、飛散物)(29.5%)
 - キックバックや小石、チップの飛散
 - ⇒防護具の徹底、飛散物カバーを外さない
- 3 詰まりなどの除去時の事故(18.2%)
 - 回転を止めず、草の詰まりなどを除こうとして
 - ⇒確実にエンジンを切ってから
- 4 周辺環境に起因する事故(15.9%)
 - 草むらの中に潜む杭や空き缶など
 - ⇒慣れた場所でも事前確認

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV) p41より

安全対策のポイント

ポイント①

- ・傾斜面・法面に小段の設置
- ・スパイク靴の着用



ポイント②

防護具の着用を徹底



ポイント③

詰まり除去時や刈払機を置く時
エンジン停止！



ポイント④

草むらに潜む構造物(穴・溜桧)や
切り株、大きな石、空き缶などを、
まず点検